

計画第3期 小中一貫教育とCSの充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.48 R5.3.23 幕別町教育委員会 学校教育推進員

コロナ禍収束への期待が高まる中、令和4年度が終了します。この3年あまり、さまざまな制約と感染対策に対応しながら、教育活動をしっかりと進めた各学校の奮闘に改めて敬意を表します。アフターコロナを見据えて新たな日々が始まりますが、コロナ禍前にただ戻るわけではありません。この間の積み上げた数多くの工夫や対策は学校をさらに強くしています。どんな新しい価値を創造できるか楽しみみな令和5年度が目の前です。今年度の締めくくりをしっかりと行い、来年度の見通しをもって新年度を迎えましょう。今月は、一足先に新しい年度をスタートさせる、各学園の第1回運営協議会の様子を中心にお知らせします。

経営方針承認！第1回学校運営協議会 相次いで開催！

ちゅうるい学園 3/1 3月1日(水)に第1回学校運営協議会が開かれました。



はじめに、運営協議会規則の説明・確認が行われ、委嘱状が各委員に手渡されました。自己紹介の後、役員選出に移り、会長に加藤委員、副会長に香西委員、鳥毛委員が選出されました。その後、来年度の学園経営方針と小中各校の学校経営方針が提案され、承認されました。

令和5年度から学園目標は「新しい つながり」となります。忠類の地域力を土台に、幼保小中の子ども達が住民とつながることはもちろん、多様な人々との出会いや体験・学びを通して、たくましくこれからの人生を歩んでいく力を身に付けてほしい、との願いから設定されました。この願いが小学校・中学校の経営方針にも反映され、小学校では「全教職員で、全員の子どもを育てる」を合言葉に日常の授業を大切にしながら地域に根差した教育を展開し、中学校では「地域とともにある学校づくり」「一人一人の子どもが輝く学校づくり」を合言葉に教育活動を展開することになっています。

さつない学園 3/1 さつない学園でも3月1日(水)、第1回運営協議会が開かれました。学園の活動報告、来年度への引継ぎ事項の説明とともに、来年度の学園経営方針と各学校の経営方針が説明され、いずれも承認されました。

このほか、サポーター募集チラシについてのお知らせ、古舞小学校閉校の経緯等の情報提供が行われ、令和5年度のスタート切る第1回の運営協議会を終えました。



糠内学園 3/8 糠内学園では3月8日に第1回運営協議会が開かれました。

新会長に橋詰委員、副会長に黒沼委員を選出したあと、「協働的に学ぶコミュニケーション能力の育成」を重点課題とする来年度の学園経営方針が説明され、全員の拍手で承認されました。

意見交流では、奄美大島との交流について多くのアイデアや意見が出され、新会長の閉会挨拶でも「奄美大島との交流を充実させる中で子ども達のコミュニケーション能力を育てていこう！」とまとめられました。

笑顔あふれる和気あいあいとした雰囲気ですらなる活動充実を期待させる会合となりました。



札内東学園 3/9 3月9日(木)、第1回運営協議会が開かれました。

はじめに、委嘱状が学園長より伝達され、その後役員選出に移りました。会長には堀川委員が立候補して選ばれ、副会長には会長推薦で岡部委員が選出されました。

続いて横山副学園長（札東中校長）が情報提供として運営協議会について説明しました。PTA や地域学校協働本部との違いも丁寧に解説され、参加者みんなが運営協議会の役割を確認できる場となりました。

次に、札内東学園と各学校の来年度の経営方針が学園長、各校長から説明され、いずれも承認されました。

盛んに行われている地域学校協働活動にかかわるメンバーも増え、さらなる活動充実を期待させる、活気のある第1回運営協議会となりました。



まくべつ学園 3/13 3月13日(月)に第1回運営協議会が開かれました。はじめに、



委嘱状が学園長より伝達され、令和5年から2年任期（令和4年度から全員再任）のメンバーによる学校運営協議会がスタートしました。引き続き、会長に森委員、副会長に小山委員が選任され、運営協議会の事業計画も確認されました。

その後、令和5年度の学園経営方針と幕別小・幕別中の学校経営方針が説明され、いずれも承認されました。

「幕別町小中一貫教育 学園・学校経営の重点」を受け、学園経営の重点を、「今後の『まくべつ学園』のあり方と方向性の構築～教育課程・生徒指導・特別支援・CS・働き方改革のさらなる充実～」として、①学園の事業をさらに推進していくこと、②今後のまくべつ学園の小中一貫教育のあり方を見据えた取組の充実を図ること、③地域・保護者・外部機関との連携・協働を図ることとし全体で確認しました。

今後、地域と学校が連携・協働できることについて学校運営協議会で熟議を重ね、深掘りしていくことも確認されています。

さつない学園乗入授業 継続して実施！

2月28日(火)、札内中学校の井上麻衣先生が札内南小学校へ算数の乗入授業を行いました。中学校入学に向けて「勉強に対して不安を感じている人」と尋ねると、多くの児童が挙手。そこで、カードゲームを用いて正負の数の足し算ゲームを実施しました。



計算に苦手意識のある児童も周りに助けをもらいながら取り組み、終末段階には中学校1年生の教科書にある問題も解けるようになり、「これなら大丈夫そう」「ゲーム楽しかった」「もっと問題解きたい」などの声があがりました。

3月6日(月)には、飯塚先生が途別小学校へ理科の乗入授業「顕微鏡で見える世界」を行いました。小規模校では顕微鏡を1人1台用意できるので、十分にプレパラートを観察し、使い方をマスターすることができました。子どもたちは興味深く学習していました。



大きく進んだ小中一貫教育とCS！ 来年度も継続して充実を！

今年度、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの取組が大きく進みました。小中一貫教育課程の整備が大きく進み乗入授業が拡充されました。また、運営協議会での熟議が盛んに行われるようになり、地域学校協働活動も目に見える形で行われるようになりました。

来年度は、推進構想の第4期に入ることになっていますが、コロナ禍の影響もあり、当面は今年度の取組を継続し充実を図ることで第4期の基盤づくりをすることになります。